

【解答】

1. (1) Our (2) her (3) mine

2. (1) He (2) her (3) them (4) him (5) his

3. (1) bike, Kenta's (2) CDs, mine

【解説】

1. 主格、所有格、目的格、所有代名詞の中から適切なものを選ぶ。

2. 主格、所有格、目的格、所有代名詞の中から適切なものを選ぶ。

※単数と複数に注意すること。

3. 指示代名詞の正しい使い方を覚える。

【日本語訳】

1. (1) 私たちの英語の先生は鈴木さんです。
(2) あの女の子はユキです。私は彼女を知っています。
(3) この本は私のものです。

2. (1) 彼は英語の先生です。
(2) アリスは彼女の先生が好きです。
(3) 彼らを知っていますか。
(4) 私は彼とサッカーをします。
(5) このペンは彼のものです。

3. (1) これはケンタのバイクです。
このバイクはケンタのものです。
(2) これらは私のCDです。
これらのCDは私のものです。

【解答】

1. (1) are (2) are (3) plays
(4) study (5) go

2. (1) plays (2) studies (3) live

3. (1) These are my books.
(2) Those pens are mine.

【解説】

1. be 動詞と一般動詞のどちらの文かを理解する。

2. 主語に対して正しい動詞の形を選ぶ。

※三単現に注意する。(三人称、単数、現在)

3. 複数形に変化するときに、指示代名詞と be 動詞も変化させることを忘れない。

【日本語訳】

1. (1) これらは私の写真です。
(2) タクヤと私は兄弟です。
(3) 彼は時々ギターを弾きます。
(4) 私の兄弟は数学を勉強する。
(5) 彼らは自転車で美術館に行きます。

2. (1) 田中さんは毎週日曜日にバスケットボールをします。
(2) ユキは毎日英語を勉強します。
(3) ユウタとケンは今カナダに住んでいます。

3. (1) これらは私の本です。
(2) あれらのペンは私のものです。

【解答】

1. (1) Are you Mr. Suzuki?
(2) Is Satoru a good basketball player?

2. (1) I am not from Australia.
(2) You are not a teacher.

3. (1) No, they aren't. (2) Yes, he is.

【解説】

1. be 動詞の疑問文の作り方：be 動詞を主語の前に出す。
2. be 動詞の否定文の作り方：be 動詞のあとに not を置く
3. be 動詞の疑問文への答え方：
疑問文の主語を代名詞に置きかえ、be 動詞で答える。

【日本語訳】

1. (1) あなたは鈴木さんですか。
(2) サトルはよいバスケットボール選手ですか。

2. (1) 私はオーストラリア出身ではありません。
(2) あなたは先生ではありません。

3. (1) いいえ、違います。 (2) はい、そうです。

【解答】

1. (1) Do you play tennis every Saturday?
(2) Do we walk to school?

2. (1) We don't play baseball after school.
(2) They don't like sports.

3. (1) Yes, I do. (2) No, I don't

【解説】

1. 一般動詞の疑問文の作り方：主語の前に Do を置く。
2. 一般動詞の否定文の作り方：一般動詞の前に don't を置く。
3. 一般動詞の疑問文への答え方：
疑問文の主語を代名詞に置きかえ、do / don't で答える。

【日本語訳】

1. (1) あなたは毎週土曜日にテニスをしていますか。
(2) 私たちは学校まで歩きますか。

2. (1) 私たちは放課後に野球をしません。
(2) 彼らはスポーツを好きではありません。
3. (1) はい、そうです。 (2) いいえ、違います。

【解答】

1. (1) plays (2) studies (3) lives

2. (1) Does she usually go to bed at eight?
(2) Does Ami play basketball every day?

3. (1) My sister doesn't teach English at school.
(2) He doesn't wash his car every day.

4. (1) No, she doesn't. (2) Yes, she does.

【解説】

1. 母音 + y ⇒ y の後ろに s をつける。
子音 + y ⇒ y を i に変えて es をつける。
2. 三単現の一般動詞の疑問文の作り方：
主語の前に Does を置き、一般動詞を原形に戻す。

3. 三単現の一般動詞の否定文の作り方：
一般動詞の前に doesn't を置き、一般動詞を原形に戻す。
4. 三単現の一般動詞の疑問文への答え方：
疑問文の主語を代名詞に置きかえ、does / doesn't で答える。

【日本語訳】

1. (1) タケダさんは毎日野球をする。
(2) 彼女は英語を勉強する。
(3) 私の姉（妹）はアメリカに住んでいる。

2. (1) 彼女はたいてい八時には寝ていますか。
(2) アミは毎日バスケットボールをしていますか。

3. (1) 私の姉（妹）は学校で英語を教えていません。
(2) 彼は毎日彼の車を洗っていません。

4. (1) いいえ、違います。 (2) はい、そうです。

【解答】

1. (1) There is
(2) There is , in
(3) There are , in
2. (1) There are two cars near the museum.
(2) There is a pen on the table.
(3) Is there a boy in the classroom? Yes, there is.
(4) Are there any pictures on the desk? ?
No, there aren't.
(5) There aren't any apples on the table.

1. There is (are) ～の文= 『～があります (います)』
※単数と複数に注意する。
2. There is (are) ～の文の疑問文の作り方：
be 動詞を there の前に出す。
There is (are) ～の文の否定文の作り方：
be 動詞のあとに not を置く。

【日本語訳】

1. (2) 私たちの町には広い公園があります。
(3) 一週間には七日あります。
2. (1) 美術館の近くに二台の車があります。
(2) テーブルの上にペンがあります。
(3) 教室の中に男の子はいますか。はい、います。
(4) 机の上にくいつか写真がありますか。いいえ、ありません。
(5) テーブルの上には1つもリングがない。

【解答】

1. (1) What time (2) Whose (3) What
(4) Where (5) When (6) How

2. (1) He plays basketball.
(2) It is seven in the evening.
(3) He is my brother.
(4) She lives in Saitama.
(5) She listens to music before dinner.
(6) It is 5,000 yen.

3. (1) (例) I usually have it at seven.
(2) (例) I like soccer.
(3) (例) I'm from Kanagawa.
(4) (例) I have three pens.

【解説】

1. それぞれの疑問詞の意味を理解する。
何について聞かれているかを考えるとよい。
(1) 時刻 (2) 誰のものか (3) 何か (もの、こと) (4) どこ (場所) (5) いつ (曜日) (6) どのように (方法、手段)
2.3. 疑問詞で始まる疑問文に対する答え方に注意する。

【日本語訳】

1. (1) あなたはたいてい何時に起きますか。私はたいてい六時に起きます。
(2) あれは誰の帽子ですか。それは私のお母さんのものです。
(3) あなたは土曜日の朝になにをしていますか。私はサッカーをしています。
(4) 私の本はどこですか。それは机の上です。